

= 生徒指導だより =



めざす子ども像… 自他の違いやよさを認め合う子ども
自分で考えて実行できる子

令和2年度

10月号

R2.9.30

山口市立大内小学校



ルールを守るということ



多くの方がルールを守っているからこそ、私たちは安心して毎日を過ごすことができます。例えば、赤信号で停止するというルールが守れない人が世の中にあふれたとしたら、きっと私たちは、気軽に町を歩くことができなくなってしまいうでしょう。

「なぜルールを守らなければいけないの?」と問いかけられたときに、自分の考えがきちんと言える子どもは、大内小でもまだ少ないように感じています。そんな子どもたちに、私たち大人は、「自分の命を守るためだよ」「みんなが安心して生活できるようにするためですよ」と、意識的に伝えていかなければなりません。「自分一人くらい平気」「バレなければ大丈夫」といった感覚をもってしてしまうことが、いつか自分自身の、そして自分の大切な人の大きな悲しみにつながってしまうかも! そんな話を、機を見て、お子様と一緒にしていただけたらと思っております。

〈最近気になる、大内小の大切な“ルール”〉

※『学校生活を楽しく過ごすために』『よい子の暮らし』より

- ・ 授業や、その他の活動に必要な不要品は、学校に持って来ない。
- ・ 子どもどうして、お金や品物(ゲーム、カードなど)のやりとりをしない。
- ・ 次の時間には、家に帰り着く。10月~3月:午後5時(4月~9月:午後6時)
- ・ 外出するときには、行き先と帰る時刻を家の人に伝える。

交通のルールも
もちろん守ろう!



10月の目標「みんな仲よくしよう」

みんなで仲よく過ごすためには、自分のことばかりを優先せずに、相手の立場に立って考え、行動することが求められます。それぞれの学年の発達段階に合わせて、“思いやりの心”を育むための言葉がけをしていきたいと思ひます。

秋の訪れとともに...



○10月より帰宅時刻が夕方5時になります。

朝夕の涼しさを感じ始めるとともに、日が暮れるのが日々早くなっていることに気づかざる時季となりました。「まだ大丈夫」と思って遊んでいるうちに、あっという間に辺りが薄暗くなり、大慌てで家に帰った...という経験がある子どもも多いのではないかと思います。交通安全のため、そして不審者などから身を守るため、早め早めの帰宅を心がけるよう、お子様に声をお掛けください。

○10月は、ベストを着用して登校してもよい月となっています。

暑さ、寒さの感じ方は人によって違いがあるため、本校では、標準服の上着を何日から着るといった基準は特に設けていませんが、子どもたちには次のように指導しています。

- ①寒くなってきたら、標準服の上着を着てもよい。
 - ②10月は、標準服の上着では暑いと感じれば、ベストを着てもよい。
 - ③標準服の上着を着てもまだ寒いと感じたら、その下に、ベストやセーターを着てもよい。
- 朝の気温や天気予報・体調等を考えながら、その日にあった服装を選ぶことも、大切な学びの機会です。4月に配付いたしました『学校生活を楽しく過ごすために』もご覧いただきながら、お子様へのアドバイスをお願いいたします。